



妙教寺だより

第 35 号

平成 25 年 8 月

但行
礼拝



一心
合掌

檀信徒の皆様より、妙教寺の護持興隆の為、特に、宗祖御降誕八〇〇年慶讃記念事業などのご浄財ご喜捨や、順忠院日貫上人の内室

暑中御見舞申し上げます。

「生成仏抄」

衆生の心穢るれば土も穢れ、心清ければ土も清しとて浄土と云い穢土と云うも土に二つの隔てなし。只我等が心の善悪によると見えたり。

お盆会の宗祖の遺訓

妙教寺第七世
元寇圓教会第五世 順信院日薫

宗祖日蓮大聖人御降誕八百年
慶讃記念事業第一期終了

坊守「順教院日英法尼花田英」靈位の第壺周忌奉行のご厚志を賜り、又、諸行事のご奉仕など、種々の高配に対し心から御礼申し上げます。

現世安穩後生善処を目指し

さて、私たち人として生まれて、常に幸せになりたいと願うものです。しかし、現実には、煩惱に汚れた濁乱したこの世では、政・財・官等の政争に明け暮れる苦界から庶民の暮しまでを脅かす娑婆。毎日のように寒々とした事件や事故のニュースが飛び交い、いつ自分にふりか

かるか判らない火の粉に不安を抱き、怖畏すべし時には現実から逃げ出したいくなり、甘い言葉に惑わされ自分を失ってしまったたり、幸せを願いながらも、さまざまな苦しみがあるところ、にみちみちている苦しみの中で生活をしています。

そんな衆苦充滿した時代に生きる私たちに、日蓮大聖人は、「浄土と云い穢土と云うも土に二つの隔てなし。只我等が心の善悪によると見えたり。」と御教示されているように、現世と後世を一貫して浄土ととらえる信仰で、我が日蓮宗の立場です。永遠の寿命ご本仏の釈迦牟尼仏がいらつしやる靈山浄土は、生死を超えた現実の浄土です。法華経薬草喻品第五には「このもろもろの衆生、法を聞

きおわって、現世安穩にして後に善処に生ず。道（どう）を以（も）って樂（たのしみ）を受け、また法（は）を聞くことを得（う）。」とあります。現世において法華經を聞いた者は、死後には浄土（善処）に生まれ、また法華經を聞くことが出来ると示されている。

私たちの現世社会は、政治・経済・教育などのあらゆる人間の社会活動はすべて、人々の心をそのまま映し出したものでありましょう。「類は友を呼ぶ」と言いますが、私たちの心が悪意に溺（溺）れば周りには悪意悪行の者が集い、この世界（環境）は悪土（穢土）となり、私たちの命（心）を磨けばが善意に目覚め清らかになれば、善意善行の人が集い来る生き生きと生きる素晴らしい世の中、浄土となるのです。

生死の苦しみにみちて、ひと時も安らかなことがない、苦しみに憂え、わずらっている現代社会は、とても浄土とは言えない世の中です。しかし、今の世の中を浄土とすることができるのは、この時代に生を受けた衆生、お題目を唱える私たちしかないのです。

親から子、子から孫へと

今の世の中を浄土とすることができ、私たちは、深く信心を起こして、境涯を開き、智慧を磨かなくてはなりません。また、仏の恩徳を心肝にそみて、その使命を胸に家庭、地域、日本、更には世界を現実の浄土とするべく、お題目を唱える仲間を増やし、親から子、子から孫へと信仰を相続し



日蓮聖人は御入滅前に、經一丸（後の日像上人）に京都弘通を託された

ながら、やがては、日蓮大聖人の願いである「諸の衆生を引導して之を集めて法を聴かしめん」即ち「一天四海 皆帰妙法」を掲げ、世界中にお題目の信仰を弘めることの達成に向けて励み、お題目の信仰に導いて下された、日蓮大聖人の弘教の志をたもち、その志を未来に伝え続けんと、我慢偏執の心なく、御題目を一心に唱えお題目を唱える人々の和を更に大きく広げるお手伝

いをしたいと存じます。

妙法五字の受持を目指し

私共が、日蓮大聖人の御降誕八〇〇年の慶讃の記念の年を迎えるため、どうぞ、私に、この「南無妙法蓮華經」のお題目を弘めさせて下さいと「誓願」して、大聖人の「誓願」を私共の「誓願」として受けとめ、私共、一人一人が大いなる「徳」を積み「報恩」の心を受継ぎたいものです。

また、日蓮大聖人さまは、観心本尊抄の中で、妙法蓮華經の信仰の功德について、「釈尊の因行果徳の二法は妙法蓮華經の五字に具足す。我らこの五字を受持すれば、自然に彼の因果の功德を譲り与えたまう」（観心本尊抄）として、身

口意(しん・く・い)の三業の実践と妙法五字の受持のお題目を唱えることの重要さを説かれています。

して「妙法五字」を「受持」すれば、自然とお釈迦さまの功德をすべて譲り受けることができる」と宗祖は約束されています。

たは功德善根などといわれて、陰徳と陽徳の善根を積むことによって得る福德のことをいいます。

陰徳、陽徳の善根を積む

社会成仏を構築することを目指し、この世にいながらにして成仏することができる、すなわち「即身成仏」に向かつても精進しなければなりません。

また「釈尊の因行果徳の二法、三世十方の諸仏の修因感化、法華経の文々句々の功德を取り聚めて此の南無妙法蓮華経と成し五へり」(聖愚問答抄)と宗祖は仰せられ、妙法蓮華経には無量の福德がそなわっていることを示されています



日蓮聖人が書かれた大曼荼羅御本尊

「釈尊の因行果徳の二法」とは、お釈迦さまが長い時間をかけて行った修行と、その結果得られた「徳」のことをあらわします。「妙法蓮華経」という五字、すなわち「妙法五字」の中にこそ、お釈迦さまの「大功德力」がすべて含まれているのです。そ

「日蓮大聖人の御降誕八〇〇年の慶讃の記念事業」のご寄進や菩提寺の護持外護の本分を尽くすことや、読行、誦行、解行、説行、写経行など、また、日々の追善回向、種々のご祈願祈念を通しての、菩薩行などの善行為には、よいむくいを受けるべき因としての如説修行の善行を指して、善根功德ま

すなわち、利益が他から与えられるものに対し、自ら積むことを功德と称しますが、仏道修行による得益の相からいえば、その意義は功德も利益も同一ですので、お釈迦さまの功德をすべて受け取るということは、お釈迦さまと団体になるということですから「仏」になる、すなわち「成仏」できるということです。

さらに、そのはかり知れない功德も、「功德とは即身成仏なり、又六根清浄なり」(御義口伝)と宗祖は示され、罪障悪因縁を消滅し「即身成仏」「六根清浄」の境

罪障消滅の祈りの実践

界を得ることに極まると教導されているように、本年度の「盂蘭盆会」を迎えるにあたり、何ものにも脅かされない安心立命の境界の確立と、生命の浄化、そして物心両面にわたって「現世安穩」「後生善処」の福德に満ちた人生を築くことが、妙法信仰の功德なのです。

今こそ、當山が推し進める宗祖御降誕八〇〇年慶讃事業（慶讃事業委員会より事業詳細は別紙報告）に結縁頂きご賛同と心からのご喜捨を賜り、みなさまにおかれましても大変な情勢の中で誠に恐縮に存じますが、お檀家の皆様のご努力、ご懇志によりまして、達成できたらと願っております。

また、千載一遇の好機に、未だ結縁なきご信者の皆様におかれましては、積功累

徳の良き機会とお考えいただき、益々の陰徳、陽徳の善根を積まれることをお勧めいたします、その目標に向かい、日蓮大聖人さまへのご報恩を捧げたいと存じます。



完成した、庫裡屋根ステンレス鋼板
仕上げ工事

さらに、御降誕八〇〇年慶讃事業も第一期工事も順調に終り、これからは第二期工事にはいり、その完成に向かって、僧俗同心となり努力しなければ、事業円成はなしとげられたとは、到底申すことはできません。住職自らも、精一杯努力し

ますので、心からなる皆さま方の浄財喜捨の程をお願い申しあげます。

また、私共聖徒として、「共生共栄の心（立正安国の精神）」を忘れずに、「積功累徳」と「但行礼拝」の信仰運動を実践し、檀信徒の絶大なるご理解をいただき、各位の一層の御支援御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

一 心 合 掌
南無妙法蓮華經

お盆会法要の参加

来る八月十八日（日）、當山では盂蘭盆施餓鬼供養会が奉修されます。たとえ忙しくとも必ず参詣するよう心がけて、皆様と共に、ご先祖様へ積善の功德を送り報恩のまことをささげたいと

2021 年(平成 33 年)
宗祖日蓮大聖人御降誕 800 年
2028 年(平成 40 年)
妙教寺開基開創 150 周年

存じます。

尚、日々のお参り必携の妙教寺檀家袈裟・念珠と経本・行衣（経帷子）など着帯しご参拝下さい。

宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年 慶讃記念事業について

事業担当長

臼井 義光

六、本堂外陣正面幕板彩色

工事

◎防犯カメラ

一、本堂・駐車場等カメラ新

設工事(計八ヶ所)

四、八大龍王塔(山門横)・
万霊供養塔(裏庭)修
復工事

場照明(LED)器具
取り替え工事完成
四、本堂事務所・大広間床・
東補修補強工事完成

五、本堂二階両脇引き戸前
和風障子仕上げ工事
完成

今年の四月より工事にと
りかかり七月末までの工事
進捗状況について御報告申
し上げます。

◎階段

一、階段ホール廻り、クロス

張替え・塗装工事

二、一階～二階イス式階段

昇降機新設工事

以上の工事は完成致して
おります。

又、二期工事(追加工事)

といたしまして、左記の工事

を完成または、進行中です。

完成分につきましては、近日

中に完了検査を実施してい

ただく予定になっておりま

す。

六、本堂広間・トイレ照明
(LED)器具取り替
え 工事進行中

七、本堂二階エアコン取替え
工事(検討中)

八、庫裡、玄関土間補修工
事進行中

九、山門入口・駐車場入口
土間補修工事進行中

◎本堂

一、二階玄関引き戸取り替

え工事

二、二階内陣・外陣照明(LED)

器具取替え工事

三、二階納骨堂床張替え、

天上・壁塗装工事

四、二階納骨堂・台所照明

(LED)器具取り替え

五、二階本堂・玄関入口・

壁・窓下部分補修塗装

工事

◎外部

一、本堂窓下ひび補修塗装

工事

二、庫裡外壁改修工事

(劣化抑制美セット工事)

三、本堂・庫裡雨樋改修

工事

一、庫裡改築工事

二、本堂一階～二階階段床、

事務所床・壁、台所壁

改修工事完成(クロス・

塗装)

三、本堂・庫裡・玄関・駐車

後少々期間がかかると思
いますが、御理解・御協力の
程よろしくお願い申し上げ
ます。

宗祖御降誕八〇〇年

慶讃記念事業委員会

工 事 後



工 事 前

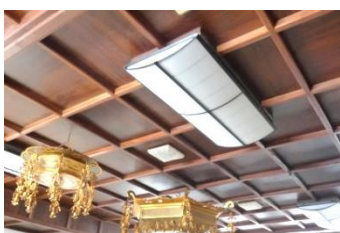
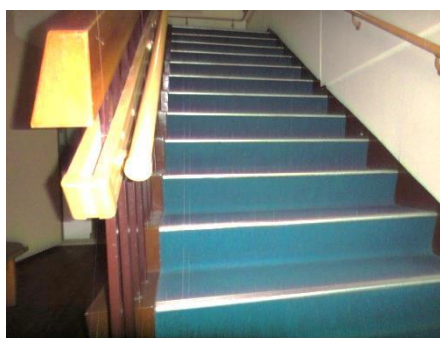


本堂二階玄関引き戸工事

主 な 完 了 工 事 照 会

階段床張替え・

昇降機新設工事



〔本堂〕 〔御霊屋〕

LED照明取替え工事



〔一階天井〕 〔御霊屋床〕

クロス・床張替え工事



工 事 後

工 事 前



庫裡外壁塗装工事



庫裡屋根防水工事
ステンレス鋼板仕上げ



〔万霊供養塔〕



〔八大龍王塔〕

石塔ねじれ修復工事



防犯カメラ
八ヶ所新設工事



本堂彩色
塗替え工事



大広間床・束
補修補強工事

第一周忌

日英法尼とのご縁“私の思い出”

當山山務員

松尾 英勝

平成二十四年六月十七日、まだ夜も明けきらぬ時、待機していた部屋に、坊守様が遷化された報せが入った。私たち弟子も覚悟をしてはいたものの、この現実だけは受け止めなければならなかった。

早やいものであれから一年が経ち、一周忌を迎えました。

追善の法要は、六月十六日の施餓鬼法要後に、久留米市妙正寺御住職 田中潮佑僧正を御導師に迎え、式衆に山鹿市圓頓寺御住職 荒木英人上人、朝倉市大安

寺御住職 秋吉英守上人により、厳肅に執り行われました。

参列者の中には、坊守様から様々な面からご指導してもらった方がたくさん見えられていました。



日英法尼一周忌に於いて御導師を勤められた、正干与人・久留米市妙正寺御住職 田中潮佑僧正

思いおこせば、私と妙教寺様とのご縁が出来たのは、私が小学四年生の頃（四十

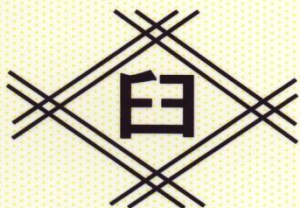
五年前）、當山第五世亡日貫上人が、青少年育成会を立ち上げられ、発会式の行事を行われた時でした。



育成会発会式で宗讃歌を合唱する育成会会員（昭和42年頃）

この頃、何もわからないまま両親に連れられて来ては、本堂を走り回って、坊守様に、「本堂で走りようとは誰ね！」と注意されました。しかし、注意ばかりでなく、お供えで上がったお菓子などを持ってきては、さあ食べなさいと優しく皆にくださいました。

中学生の頃に、お寺では



建設業

早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有) 臼井組

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9

TEL 092-932-7397

二十一日間の研修会が行われていました。私も両親の勧めで参加しました。この研修会は、学校へ行く者、会社へ行く者、参加者全員がお寺で宿泊まりして、朝の水行、お経の練習、講話、又合掌、正座、食法等の仏事作法等、信行の基礎を習得する為、精神の鍛練を行い、時間になれば、学校や会社に行き、終るとお寺に直接帰って来るといった生活を送りました。

研修会の朝食は、雑炊を作られることが多くて、嫌気をさして食べていると、坊主様から、「食べたくないなら食べなさんな、昼食・夕食抜きよ」と、よく叱られていたものでした。日々の水仕事をしている時に、「水もタダじゃないとよ、大事に使いなさい」などといった言葉が頭の中に蘇ってきます。この研修会で身に着けたことは、目上の方を敬うこと、特に坊主様からは耐え忍ぶこと、物の有難さや回りで世話をして頂く方への感謝を教えて頂きました。坊主様の魂は、私の心の中にも生きておられます。

また、今から約二十年程前(坊主様は七十歳位の時)坊主様のご指導のもと、妙教寺での団参の他に、身延山久遠寺をはじめ、七面山、能勢の妙見様、白瀧稻荷様等、有志の方々と一緒にお参りに行かせて頂きました。

特に、七面山への険しい山道を、ほとんど初めて登詣する者を先導しながら、又皆でお題目を唱えながら、一丁一丁登り、七面山敬慎閣にたどり着きました。この

時に坊主様から、「私達と一緒にたくさんさんの御霊が憑いてこれ、自分達の力だけでなくこのたくさんさんの御霊の方々の後押しによつて、登れたのよ」と、ご指導頂きました。

日英法尼様から、いろいろなことがらをご指導頂き、今の私があるのも、日英法尼様のお蔭によるものです。



平成 11 年、団参で肥後本妙寺に参拝した折、拝み所前にて記念撮影(後列中央が坊主様)

末筆となりますが、日英法尼様からご指導頂いたことをこれからも大切にしてい

僧侶としての本分を尽くしてまいることがご報恩と受けとめ日々精進してまいります。

南無妙法蓮華經

株式会社 松下仏壇店

熊本店／熊本市上水前寺1-12-12 (東パ'イ'ス熊工前) 096-384-5666

玉名店／玉名市中1832 (玉名高校前) 0968-74-4840

山鹿店／山鹿市大橋通り404 0968-43-5665

本店／大牟田市上町2-2-4 (上官通り) 0944-56-3675

<http://www.matusita.net>

心と心のふれあいを大切に

お安い費用で、お仏具修復

熊本店

日蓮大聖人のおことば ⑫

みようほうあまごぜんごへんじ
妙法尼御前御返事

そ おもん にちれんようしやう
夫れ以みれば日蓮幼少の時より

ぶつぽう まな そうらい ねんがん
仏法を学び候しが念願すらく、

ひと じゆみやう むじやうなり
人の寿命は無常也。

い いき いき ま こと
出づる気は入る気を待つ事なし。

かせ まえ つゆ なおたとえ
風の前の露、尚譬にあらず。

かしこきも、はかなきも、

お わか さだ な ならいなり
老いたるも、若きも定め無き習ひ也。

まさりんじゆう こと なろう
されば先臨終の事を習ふて

のち たじ なろう
後に多事を習ふべし。

(聖人聖寿 五十七歳)



日蓮聖人は、長年にわたる多難迫害と困苦欠乏の生活で身体はむしばむようになり、療養の為身延を出発し常陸の池上に向かわれた

いつまでも有ると思うな
親と金等々の狂歌がありま
す。

中にはもうすでに親を亡
くされた方もいらつしやるで
しょう。親がいらつしやる方
も毎年一才ずつ年をとられ、
寂しい事ですがいつかは亡く
なります。又、お金も蓄え
ることは大変ですが、使い始
めるとあつという間です。私
達自身の命も生を受けたそ
の時から死へのカウントダウ
ンが始まっていて、いつか必ず

臨終を迎えます。

若い時、健康な時はあま
り実感がわかないかもしれ
ませんが、逃れる事が出来
ない現実です。しかし、必ず
しも若いから寿命が長いと
は限りません。突然の事故
や病にあい命を落とすかも
しれません。誰でもいつま
でも生きていたいと思うのは人
間の本能です。しかし、私た
ちの人生が平穩であるとい
う保証はどこにもありませ
ん。

それならば、許された人
生をどう生きるか。日蓮大
聖人は、私達に生きざまを
問いかけておられます。老
生不定である人生を悟って
昼夜に法華経の信心に精進
して、身口意の三業をいつも
清浄にして、安らかな人生
としたいものです。

(各書籍参考)

一口説法

おのれを知る

須梨槃特は、釈尊の多くの弟子の中にあつて、自分の名前さえ覚えられないくらいのものであつた。それに気付いた須梨槃特は他の人の迷惑になるからと、釈尊に破門を願つた。しかし釈尊は彼に向かつてこう言つた。「槃特よ、お前は自分が愚かであるということに気がついたのだから本当の愚か者ではないのだ」と。そして仕事を与えた。彼は釈尊に言われた通り一生それを行じ、ついに如来の位までのぼることができたという。



挿絵 青山書院発行「お釈迦さま」より

私たちは生活していく中で自分の愚かさに気がつかず他人より優れていると思ひ、そんな心で人を見下してしまうことがある。人は多かれ少なかれ欠点をもっているものである。それに気付いておのれを知り、一つの目標に向かつて精進することが大切ではないだろうか。

日蓮聖人はご遺文の中で“須梨槃特は……一念の信ありて普明如来と成り給う”と示されています。純真な気持ちをもつて信仰に励んでいきたいものです。

日蓮宗新聞社発行「ひと口説法」より



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店

仏壇・仏具・寺院用具寺院納骨堂設計施工



本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092) 271-0456 • FAX (092) 271-0464

工場 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092) 806-7499 • FAX (092) 807-1079

◆ E-mail umetani@umetani-jp.com

◆ HP <http://www.umetani-jp.com>

投稿欄

事故に遭って
感じたこと



當山山務員
高野 英一

七月の初め、お参りの帰り道で交通事故に遭ってしまいました。

交差点を青信号で通過中、右から信号を無視して猛スピードで走って来た車が私の運転席側に向かつて突っ込んできました。あと思った瞬間、対向車の大きなワゴン車が私の車と信号無視をした車の間に入り込み、その車は対向車に衝突し、その勢い

で対向車が私の運転していた車のドアにぶつかったのです。幸い怪我はありませんでしたが、事後の対応などで時間をとられ、お寺の車を傷つけてしまった事で頭を下げながら「ああ、運が悪かったなあ」と意気消沈していました。

しかし、お寺に帰り報告をした後に言われたのが「事故に遭ったことは不運だったかもしれないが、もしあの場に対向車がいなかったら運転席にその車が突っ込んできて大変なことになっていたのではないか」という言葉でした。

その時起きた事ばかりにとらわれ「自分はなんて運が悪いんだろう」と感じていましたが、状況によっては最悪命を失っていたかもしれないと考え、今でも血の気の

引く思いです。やはり自分は知らないうちに色々な方々に守られていたのではないかと心から感じました。

日蓮宗の要文に「大難は小難、小難は無難に」という言葉がありますが、今回は大難を小難に軽くして頂けたのだと思います。今後も周りからのご加護を頂けるように精進してまいりたいと思います。

ご先祖様からの
贈り物

那珂川地区 黒木 福子

私は那珂川町に住んでおります黒木と申します。妙教寺様の檀家として永い間お世話になっております。

今年初めてお正月の星まつり新春施餓鬼会にお参りさせて頂きました。

早朝から御住職様はじめ五人のお上人様方の素晴らしい熱意あふれる読経の声に感動いたしました。この日は新年の新しいお札やお守りを受けさせて頂くのと各家のご守護神のお力を増させる為のご祈祷があり、大変大勢のお檀家さんで本堂がいっぱいでした。

この良き日にお寺にお参りさせて頂き有り難う御座居ました。心より御礼申し上げますと共に私達家族も皆様方の様に日常生活に於いて真剣にお題目をお唱え出来ます様に努力精進させて頂きご先祖様に喜んで頂けます様にと思っております。



住職上人賞が当たった筆者の黒木福子さん。住職と記念撮影。

最後になりましたが、この日新年の福を占う恒例の福引き大会がありました。色々な賞の抽選が進むにつれ、いよいよ最後の住職上人賞になりますかと思ってきましたが、私の番号が呼ばれた時、驚きと感謝の気持ちに包まれました。ご先祖様のおかげだと思いきなり難く自転車を頂きました。心より御礼申し上げます。

有り難う御座居ました。

南無妙法蓮華經

亡坊守様

(順教院日英法尼様)に

報恩感謝申し上げます

麦野地区 富永 昭子

昨年六月十七日に逝去されました順教院日英法尼(花田英)様には親子共々大変お世話になりました。思い起こせばご生前娘の事では随分親身になってご相談に乗って頂きました。ある日、自宅で法事をした折、親族の集まりの席でまだまだ信仰心の浅い親族に対し、富永家を守っていく私たち家族の事を理解が得られるようにしっかりと話して下さいました。おかげで、そこから少しずつですが親族との関係も良くなってきました。心より感謝申し上げます。

上げます。

奥様には他にもたくさん手取り足取りご指導を頂きましたが、何の恩返しも出来ておりません。これから富永家の菩提寺である妙教寺の日蓮大聖人様のお加護を頂きながら檀家の本分をわきまえ、ご奉仕をさせて頂くことが恩返しの一端になればと思っております。



婦人会会長賞のオープンレンジが当たって喜ばれる筆者の富永昭子さん

最後に新年度の星祭り大祭施餓鬼会の中での福引き大会で婦人会会長賞の

オープンレンジを当てさ

せて頂きました。ちょうど買い換えようと思っていた所で、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。有り難うございました。本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

南無妙法蓮華經

ご先祖様と私

北九州地区

藤城 順子

私の実家の牧家は名古屋から来福しました。

父が他界した折、妙教寺の檀家であった親戚の紹介で納骨堂に父の遺骨を納骨させて頂いた事を縁に、妙教寺の檀家となりました。

父が他界したのち私は、
霊体験や不思議な出来事
を経験しました。その中で
私は、二十歳前頃に強い金
縛りにあい、母はお寺に駆
け込むように相談に伺い
ました。当時、お寺の奥様
は霊や因縁について檀信
徒の方々に熱心にご指導
されておられました。

数日後のこと、奥様が月
命日経でお見えになりお
経が終わると、家の中とご
仏壇を見られ、「ご先祖様
の、永代供養をして下さ
い。」と言われ、ご先祖様
が供養して欲しいという
思いを、私を通して知らせ
ているとの事でした。そし
て母に「身を清めて（水行）
から、娘さんにお経を教え
てあげなさい。」と言われ
ました。

それから月日が経ち、私

はお寺の青年会に少しだ
けお世話になりました。又、
その時期に、亡・若上人（日
賢上人）や青年会の若い
方々とお知り合いになり
ました。



當山月施餓鬼供養会に参られた
筆者の藤城さん

その後私は結婚を機に
北九州へ移り、母も四年前
に他界しました。母が亡く
なった後にも不思議な体
験が幾つかありました。そ
の中で、未知なる経験も幾
度かあります。例えば、家
の仏壇のお曼荼羅様は母

の代よりのもので、多分四
十年位経っているかと思
います。ロウソクの煤や線
香の煙等で真っ黒になっ
ていましたが、ある日私
がお経を唱えている時にお
曼荼羅様の、小さな文字が
浮き上がってきました。

「文字があつたのだ」と今
更ながら思いました。

また、お寺の本堂でお参
りをしていった時のことで
す。私は一番左側に座って
おりました。心の中では真
ん中に座って、お参りをし
ているイメージでお経を
唱えておりましたら、その
まま体が宙に浮いて、本堂
の中は黄金色となり、その
中心に黄金色の御住職の
後ろ姿が見えました。わあ
と思ったと同時に心の中
に「捉^{つかま}えた」と聞こえま
したので、怖くなりイメー

(有) 広栄堂龍仏具店

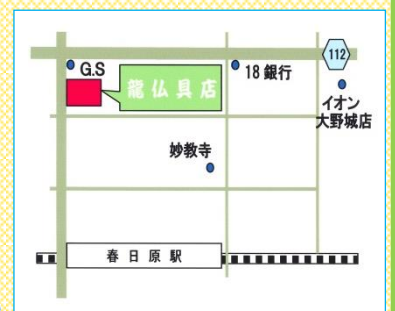


各種仏壇・仏具お取り寄せ
出来ます。ご気軽にご来店
下さい。

福岡県大野城市錦町 2-2-3

TEL FAX **092-582-7676**

定休日/毎月 5・15日



ジを抑えました。あの黄金の風景は、美しく、輝いていました。

また、半年以上も肩こりが酷く悩んでおりました、何を試してもだめでした。が昨年七月の土用の丑秘法ほろく灸のご祈禱をうけて、家に帰り、ほうろく灸の事を主人に話しておりましたら、肩こりがいつの間にか治っていました。あんなに辛かった肩こりが数時間で治っていることに大変驚きました。

母が他界して、今度は私が母の代わりにお寺参りをして、ご先祖様の供養と毎日のご仏壇への御給仕を心がけています。そして、お正月、お盆、命日等の、お飾り、お供え物、生花等、母がしていた時のようにしています。



信行会で書写修行される藤城さん

最近私が変わったことは、お寺へお参りする回数が増えたことです。おかげさまで稼業も多忙になつてまいりました。未知なる物については信仰的にとらえて行きたいと思ひます。もつと信仰を深め、知識を広めたいと思ひ信行会に入らせて頂きました。最後にになりましたが、私も機会がありましたら、母が辿った総本山身延山にも是非一度お参りしたい

妙教寺ホームページ公開

検索アドレスは、

<http://myoukyouji.jp>

皆様のアクセスお待ちしております



気もちでいっぱいです。これからも皆様と一緒に日蓮大聖人様の教えを学び信行に励んでいきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



スマイル車検

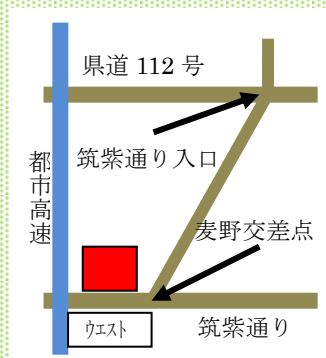
民間車検工場

井上自動車株式会社

福岡市博多区麦野 1-1-38

TEL : 092-581-4607

FAX : 092-581-4796



お上人さん教えて！

Q

仏壇を購入しましたが、そのとき仏具店で御曼荼羅も付けてくれました。それではいけないのですか？

A

仏具店で用意してくれる「御曼荼羅」は日蓮聖人の御真蹟を謹写したご本尊でない場合があります。

また、仏具店のもののなかには、聖人の花押（署名）が誤っていたり、誰が書写したものかも明らかでないものがあります。日蓮宗では、日蓮宗で推薦するご本尊（臨滅度時のご本尊）、もしくは、菩提寺の

Q

ご住職が書写されたご本尊をおまつりすることをお勧めしています。

A

総代さんから「護持会費を収めるように言われました」そもそも護持会とはなんですか。

護持会とは、文字通り檀信徒の皆さんが菩提寺を守り持つために生まれた会です。寺院運営を大きな役割としています。護持会費には、決まった金額はなく、各寺院によつて変わります

（日蓮宗ポータルサイトより）

ひよ子のおかき



各種一袋

315円



ひよ子本舗 吉野堂

本物の美味しきで、
あなたの笑顔に
出会いたい。



ひよ子の恋 10個入

1,050円(税込)

地方発送承ります



種子島産
「安納芋」使用



檀信徒様のお買い上げは、当店に限り **10%**引きとさせていただきますので、ご気軽にご来店下さいませ。お待ちしております。

名菓 **ひよ子** イオン大野城店
大野城市錦町4丁目1-1
イオン大野城1階

TEL FAX **092-592-2126**



1/20 婦人会主催寒修行
団扇太鼓を叩いて唱題行を行う
檀信徒のみなさん



1/14 新春星まつり・福引き大会
特別賞が当たって喜ばれる檀信徒
の方



4/14 釈尊降誕会（花まつり）
婦人会役員、檀信徒有志の方々に
より綺麗な花御堂が出来ました



2/3 節分追儺会
今年一年の無病息災、徐厄退散を
祈念して福は内！



7/7 信行会・写経修行
寿量品第十六より、自我偈を
写経しました



6/16 順教院日英法尼一周忌法要
日英法尼を偲び、約 80 名の方々が
参列し厳粛に執り行われました



5/26 平成 25 年檀信徒総会
古賀婦人会長御勇退に伴い村上
新会長より感謝の花束贈呈



7/28 當山盆前大掃除
檀信徒の皆様方により、本堂・
御霊屋・山門・他各所が綺麗に
なりました。お疲れ様でした



7/21 土用の丑ほうろく灸祈祷会
当病平癒、徐病の祈願をしました



7/19 第 42 回海上施餓鬼会並に
お題目のつどい
猛暑の中、16 名の檀信徒の
皆様の参加がありました

行事スナップあれこれ

お寺の行事

◎9月1日(第1日曜)

・月例祈禱祭

午前10時より

◎9月20、26日(金、木)

・秋季彼岸棚経廻り

早朝より

◎9月29日(第5日曜)

・各家勧請守護神祭

・秋季彼岸施餓鬼供養会

午後1時より

◎10月6日(第1日曜)

・月例祈禱祭

午前10時より

◎10月14日(体育の日)

・宗祖お会式桜花づくり

午前9時より

◎10月20日(第3日曜)

・宗祖日蓮大聖人お会式

・月施餓鬼供養会

午後1時より

◎11月3日(第1日曜)

・月祈禱祭

午前10時より

◎11月24日(第4日曜)

・月施餓鬼供養会

午後1時より

◎12月1日(第1日曜)

・月祈禱祭

午前10時より

・三沢清正公堂大掃除

午後より

◎12月15日(第3日曜)

・年末煤払い大掃除

午前9時より

◎12月22日(第4日曜)

・年末総供養施餓鬼会

午後1時より

◎12月27日(第4金曜)

・正月お供えの為の餅つき

午前8時より

◎12月28、30日(土、月)

・正月飾付け準備

◎1月1日(水)

・初参詣祝禱会

午前1時より

◎1月1日、3日(水、金)

・新春三ヶ日一部経読誦会

午前8時より

◎1月12日(第2日曜)

・各家勧請守護神祭

・年頭施餓鬼供養会

・開運星祭り

・新春福引き大会

午後1時より

◎1月19日(第3日曜)

・寒修行会(婦人会主催)

午前10時より

行事予定日・時間は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送します案内でご確認下さい。

◎毎月第1日曜日は

・信行会 (12時より)

・三沢清正公堂お参り (午後より)

《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。

※詳しくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二七号

春日山 妙教寺

〇九二(五八一)一二六六